

令和4年度

志木市立志木第四小学校 学校経営方針



学校教育目標

- | | |
|-----------|-----------------|
| ○よく考える子 | (知) 自分で考える力 |
| ○思いやりのある子 | (徳) 他者と助け合う品性 |
| ○やりぬく子 | (徳) あきらめない粘り強さ |
| ○元気な子 | (体) 活力あふれるはつらつさ |

○目指す児童像・学校像・教師像

目指す学校像

気持ちの良いあいさつあふれる志木四小

- ・組織力を高め、児童に生きる力をつける学校
- ・保護者、地域住民との連携を図り、地域とともにある学校

目指す子ども像

自ら学び 心豊かな子

- ・自ら真剣に学習に取り組む児童
- ・他人を思いやり、協調性のある児童
- ・心身ともに健康な児童

目指す教師像

学び実践する教職員

- ・教育は感化、自らの「人間性」を常に磨き続ける教職員
- ・児童の心に寄り添い、公平・公正な教職員
- ・児童、保護者、地域の方から信頼される教職員
- ・研修に励み、指導力を高める教職員
- ・授業を大切にし、児童に力をつける教職員
- ・「報告・連絡・相談」と「協力」を大切にする教職員

○基本理念

生き生きと児童の瞳輝き 笑顔あふれる志木四小
～『にじいろ』の学校づくり～

学校経営の基本方針

教職員の自律を促し、従前主義や前年踏襲に捉われることなく不断の改革を目指す。児童・保護者・地域から信頼される教育活動を展開し、これまでの伝統を引き継ぎながら、教育の専門集団である組織（チーム）の力を最大限に活かして、一步前進した志木四小を築く。

柱Ⅰ： 変わる勇気と変える覚悟

これまでの成果を継承するとともに、教職員一人一人が学校参画意識を高め、従前主義や前年踏襲を退歩と捉え、校務分掌等で「工夫・改善」に1つ以上取り組む。組織的・継続的にPDCAマネジメントサイクルに取り組み、一步前進を目指す。

柱Ⅱ： 豊かな学びで未来を開く

子供を育てる4つのステップ

「自覚」…自分でできるか？できないか？ 自分でやるべきことなのか？

「自信」…自分でできた。もっとできるかも！

「自主」…自分でやってみよう。自分で探究してみよう。

「自律」…自分で実践、実行する。（自らの規範に従って行動）

で主体性を育む教育活動を展開する。探究する学習活動（①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現）を通して、児童の非認知能力を伸ばす教育活動を展開する。

柱Ⅲ： チーム志木四小

「報告・連絡・相談・確認」のもと、何事にも組織で対応し、「チーム志木四小」の自覚を持って行動する。教職員事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質向上に努め、児童・保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。

柱Ⅳ： 学びにふさわしい学習環境

児童が安心して学べる安全で清潔な教育環境の点検及び整備に取り組む。授業規律の徹底、あいさつと返事の励行、しっかり話を聞くこと、「チャイムで始まりチャイムで終わる」授業に年間を通して取り組む。いじめは起きるものであるということを念頭に置き、「いじめ見逃し0」を生徒指導の根幹に据え、いじめの早期発見・早期対応を徹底し、組織で対応する。

柱Ⅴ： 家庭・地域・関係機関との連携

コミュニティ・スクールとして、保護者・地域の学校運営への参画や支援・協力を促進し、児童・保護者・地域が協働できる学校を目指す。志木第二中学校、志木第二小学校との連携を強化し、志木二中学校区の一貫教育を推進する。

